

299 Ethernetによる核医学部門、診断部門、治療部門を結ぶネットワークの構築

藤森研司、森田和夫（札幌医大放）

当院のガンマカメラ1台、CT3台、MRI1台、三次元治療計画装置および複数のワークステーション、パーソナルコンピュータを結ぶネットワークを自らの設計により構築し、各モジュール間の画像の参照ならびにWWWによるティーチングファイルの作成を試みた。

ネットワークはTCP/IPを基本とし、部門ごとにサブネット化し、firewallを介して安全性を確保しつつInternetとも接続した。FTPによってファイルの転送は可能ではあるが、必ずしも患者画像ファイルの識別が容易でないものや、ヘッダー情報が未公開のため、画像が利用しにくい機種があった。また利用者側から画像の取り込みを許可しない機種が多く、ティーチングファイルにキーマージを取り込む等の日常臨床では使いにくかった。利用者自身の設計により、安価でオープンな画像ネットワークを構築できた。